

## 安全パトロール参加者への感謝の会開催

安全パトロール  
参加者一同

3月10日(水)14時40分から、粒江小学校の運動場で感謝の会が開催されました。

これは、1年間、登下校の様子を見守ってくれた安全パトロール参加者に対し、粒江小学校全校児童で感謝の気持ちをお伝えしたり、今後も見守りをお願いすることなどを目的にしているそうです。

感謝の会は、はじめの言葉に始まり、安全パトロールの代表である武田さんのあいさつ、1年生代表児童6名によるお礼の言葉、そして終わりの言葉で締めくくられました。

1年生代表児童によるお礼の言葉には、6名それぞれの感謝の気持ちがあふれていて、パトロールの参加者一同が、これまで以上に活動に取り組みもうと思った瞬間でした。



## ウオーキング体験会を開催

粒江学区愛育委員会

毎年、粒江学区いきいきウオーキング大会へのご参加・ご協力ありがとうございました。残念ながら、今年度は例年のような大会を開催する事は出来ませんでした。来年度に向けて新規コースを検討し、11月にそのコースの体験会を地域の関係団体の方達と共に行いました。



今回の体験コースは黒石方面。粒江小学校に集合し、検温と受付を済ませて、運動指導員の先生と準備体操をして小学校を出発。まずは「粒江小学校創立の地」。現在は粒江幼稚園となっております。山際を登って行き「天津神社」に到着。寛永16年(1639年)創建と伝えられる由緒ある神社です。この辺りでは初夏に虫も見かけられるようです。坂道を下り、黒石方面へ向かい、児島霊場八十八ヶ所四十二番札所の「順木庵」へ。そして黒石公園を通り、歴史ある「荒神社」に。高台にあり、眺望が美しく、境内は銀杏をはじめ高くどっしりとした木々に囲まれています。ここからは坂を下り粒江小学校への帰り道となります。途中では、農作業などをされている地域の方々にお声を掛けて頂きながら歩き、粒江小学校に到着しました。来年度は「くらしき まち歩き さと歩きマップ(粒江学区版)」に新たなコース等を追加し改訂する予定です。次回こそ、例年通り大勢の方が参加し楽しんで頂けるウオーキング大会となるよう準備をして参ります。皆様のご参加をお待ちしております。



## 子ども見守り隊の活動について

子ども見守り隊  
隊長 武田 鉄夫

私が、子ども見守りを始めて今年で10年になります。その間青パトを立ち上げ、学区の安全に貢献された須藤さんが亡くられたり、病气や家庭の事情で、やむなく辞められた方もおられました。しかし、現在も子ども達の安全のため、冬の寒さ、夏の暑さのなかで、また、陰になり日向になり、多くの方が見守り活動に取り組みんでおられ、心から感謝いたします。

今年度は、コロナの感染拡大防止のため活動が制約を受けていますが、何かできる事はないかとの思いで、通学路のカーブミ

ラーの新設・点検などをお願いし、新設2件、取替5件、ミラーの向きが変わったもの2件の修理を行いました。



今後とも出来る事を見つげながら、さらに地域に根ざした活動にしていきたいと思っております。

# 粒江地区社協だより

第26号  
2021.3/25

発行  
粒江地区社会福祉協議会

## 「コロナにもマケズ」活動中

【粒江お困り高齢者お手伝い隊】

「粒江お困り高齢者お手伝い隊」は、地域住民によるお手伝い隊員が、「ゴミ出し、草取りなどの困りごと」を「お互いさま」の気持ちでお手伝いを行っています。

お手伝い隊員は、写真のような「ピンクのベスト」を着て活動していますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

なお、隊員さん・利用者さんの募集、お手伝いの内容・利用料等については下記にお気軽にお尋ねください。

隊員になれる方：粒江在住で、お手伝い活動に意欲と理解があり、思いやりのある方。年齢は問いません！

利用出来る方：粒江在住で、ちよっとした生活上の困りごとの

お手伝いが必要な70歳以上のお一人暮らしの方で、近隣に頼れる親族がおられない方。



《お問い合わせ・お申込み》

事務局：倉敷南高齢者支援センター  
☎420-1355

【受付】月～金 9:00～17:00

主催：粒江地区社会福祉協議会

## あなたは、どれだけ“親”のことを知っていますか？

親の好きな食べ物、親の友人、親の思い出の場所、親の趣味…。一番身近な人である“親”のこと。あなたはどれだけ知っていますか？

「離れて住んでいる親が、体調不良で急遽入院した。既往歴や現病歴、常用している薬について病院から問われたが、知らないので返答出来なかった。」「親の交友関係がわからず、訃報を伝えられなかった。」「親の介護が必要になった。ケアマネージャーやデイサービスの職員から、親の生活歴や趣味を尋ねられたがわからず、返答に困った。」

これらは、実際に高齢者支援センターに寄せられた声です。今まで“介護”とは無縁の生活を送っていたなかでの出来事であった為、どこに相談すれば良いのか、また、どういった支援が受けられるのかわからず、戸惑った、という声もよく耳にします。

「親はまだ若いし、大丈夫。」「病気もなく元気になっているから問題ない。子どもたちに迷惑は掛けたくない。」と思っているそのあなた。いざという時に備え、出来ること「例えば、自分のことを家族に知っておいてもらう」から始めてみませんか。エンディングノートのように記録するものや、親ブックのように一緒に思い出をつづるもの等、様々なツールもありますので、備えのひとつとして、お手に取ってみてはいかがでしょうか。

日常生活の困りごとや介護の悩み等、倉敷南高齢者支援センターにお気軽にご相談ください。(秘密は厳守します。)